

# リュウキュウセッコク

ぜつめつ きく  
絶滅危惧IB

学名 Eria ovata

科名 ラン

別名

区分 そうほんるい  
草本類

分布 いりおもてじま うおつりじま たいわん  
西表島、魚釣島、台湾、  
フィリピン



葉の形 らんじょうひしんけい ちようだえんけい  
さかさ卵状被針形、長楕円形

葉の縁 ぜんえん  
全縁

葉の先 えいせんけい  
鋭尖形

葉の種類 たんよう  
単葉

葉の付方 ごせい  
互生

葉の基部

実の種類 さくか  
蒴果

花・萼色 たんおうしよく  
淡黄色

じょうりよくこうようじゅりんない いわ うえ じゅじょう ちゃくせい  
常緑広葉樹林内の岩の上または樹上に着生し、  
くき なが たねんせい そうほん むちう は  
茎の長さは10-30 cmの多年生の草本、無毛です。葉は  
くき 長さ まいていど なが  
茎の先に2枚程度でつき、長さ20-30 cmです。花をつ  
ける茎は多少 くき たしやう きよく わん曲し、長さ約20 cmの花軸の先に多  
すう はな  
数の花をつけます。

説  
明